

総務省「教育の情報化」フォーラム プログラム（予定）

日時：平成 29 年 5 月 16 日（火）10:00～17:00

（パネル・機材の展示 10:00～17:45）

場所：東京証券会館 8 階ホール

（敬称略）

時間	次第	登壇者
10:00～10:05	開会挨拶（総務省）	
第 I 部 先導的教育システム実証事業		
10:05～10:20	事業の全体報告	総務省情報流通行政局情報通信 利用促進課長 御厩 祐司
10:20～10:50	実証地域 各地域担当者からコメント ① 福島県新地町 ② 東京都荒川区 ③ 佐賀県	教育委員会関係者
10:50～11:30	フルクラウドモデル校 各モデル校担当者からコメント ① 柏市立田中北小学校 ② 小金井市立前原小学校 ③ 箕面市立箕面小学校 ④ 倉敷市立連島北小学校 倉敷市立連島東小学校 倉敷市立多津美中学校 倉敷市立福田中学校 ⑤ 多久市立中央小中学校	各学校関係者又は関係事業者
11:30～12:10	ドリームスクール実践モデル校 各モデル事業担当者からコメント ① NPO 法人や自治体等の連携による学習困難 者支援モデル ② 学校と民間教育機関連携による、低コストな 教材・学習環境の提供モデル ③ 地域新聞社の協力によるクラウドを活用した 新聞づくりを軸にしたアクティブラーニング の実践モデル ④ 過疎地域におけるクラウドを活用した教材提 供・反転学習の実施、山村留学増加による地 域活性化の実現モデル ⑤ 不登校や学習に困難を抱える児童・生徒への リメディアル教育モデル	① NPO 法人 eboard ② ペガサス株式会社 ③ 株式会社神戸新聞社 ④ 大川村立大川小中学校 ⑤ NTT ラーニングシステムズ株 式会社
12:10～12:20	講評	先導的教育システム実証事業評 価委員会委員長（東京工業大学 学長相談役・名誉教授） 清水 康敬
12:20～13:05	（休憩）	

第Ⅱ部 若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業

13:05~13:10	総務省挨拶	
13:10~13:25	事業の全体報告	総務省情報流通行政局情報通信利用促進課長 御厩 祐司
13:25~15:05	<p>実施プロジェクト（11）の主体によるパネルディスカッション</p> <p>①発達段階（発達障害も含む）に合わせた異年齢協働プログラミング教育</p> <p>②プログラミング教育の地域間格差解消を目指す、遠隔地間協同育成支援モデル</p> <p>③お菓子で学ぶおいしいプログラミング体験と普及活動</p> <p>④2020年必修化を見据えたオープンで探求的・総合的なプログラミング学習</p> <p>⑤世界に発信！地域密着プログラミング学習による新潟市PRプロジェクト</p> <p>⑥コース選択制による創造的プログラミング教育の普及推進</p> <p>⑦ものづくりDNAの継承をめざした地域完結型プログラミング教育モデル実証</p> <p>⑧ファブラボを活用した多世代地域連携型プログラミング人材育成モデル</p> <p>⑨プログラミングによる地域伝統芸能復興</p> <p>⑩大学カリキュラムと連携したメンターの効率的かつ持続的育成</p> <p>⑪プログラミングを活用した次世代人材育成</p>	<p>実証 11 団体各代表</p> <p>①株式会社 LITALICO</p> <p>②国立大学法人奈良女子大学附属中等教育学校</p> <p>③江崎グリコ株式会社</p> <p>④一般社団法人みんなのコード</p> <p>⑤株式会社チアリー</p> <p>⑥株式会社 D2C</p> <p>⑦西日本電信電話株式会社</p> <p>⑧一般社団法人国際STEM学習協会</p> <p>⑨株式会社 TENTO</p> <p>⑩株式会社アーテック</p> <p>⑪公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センター</p>
15:05~15:15	(休憩)	
15:15~16:30	<p>新規プロジェクト（19）の紹介</p> <p>①オープンで探求的・総合的なプログラミング学習実施モデル 2017</p> <p>②地域主体による自走的・持続的なプログラミング教育人材の育成</p> <p>③栄養士と学ぶプログラミング講座（バーチャル・クッキング） 食育とプログラミング教育の融合「プログラミング de 食育」</p> <p>④全国のビスケットファシリテータを活用するプログラミング教育研修実践編</p> <p>⑤地域人財を生かして行う、ものづくりを通じた科学技術体感型授業</p> <p>⑥モノづくりの実践から始める「未来工作ゼミ式 ICT ラーニング」の実証</p> <p>⑦プログラミング教育の広域的な普及促進モデルの実証 ～指導人材育成サイクルの構築～</p> <p>⑧“IT 先進都市 Toyohashi！”を目指した、豊橋市民総メンターによるプログラミング教育の推進</p> <p>⑨プログラミング×ロボットで防災を考える～家庭、地域、学校・三位一体の21世紀型の生きたプログラミング教育の実践</p> <p>⑩シニア層・主婦層（及び教育実習生や小学校教員）をメンターとする地域に根ざした「永続的なプログラミング教育メンター人材バン</p>	<p>実証 19 団体各代表</p> <p>①一般社団法人みんなのコード</p> <p>②株式会社サクル</p> <p>③タイムソフト合同会社</p> <p>④合同会社デジタルポケット</p> <p>⑤株式会社ナチュラルスタイル</p> <p>⑥株式会社アソビズム</p> <p>⑦三重県教育委員会</p> <p>⑧ジャパン・トゥエンティワン株式会社</p> <p>⑨株式会社 Z 会</p> <p>⑩株式会社チアリー</p>

	<p>ク」の発足と、国内初のビジュアルプログラミング検定「ジュニア・プログラミング検定」を用いたメンター育成及び子ども達の成長可視化プロジェクト</p> <p>⑪自律型ロボット教材を用いたプログラミング学習を行い、ロボコンに挑戦する。</p> <p>⑫自動ドアのしくみと制御プログラムの作成</p> <p>⑬指導者不足問題の解決、学校の状況に合わせた教育コンテンツのアレンジメントを意識した実証</p> <p>⑭地域資源であるプログラミング言語「Ruby」を活用した教科学習（算数）支援モデル</p> <p>⑮教育版マイクラフトを活用したプログラミング的思考学習の推進</p> <p>⑯学生ベンチャー企業が大学と連携して九州広域で実施する、ブロックロボットプログラミング教室 ー 保護者等をサブメンターとして配置する試み ー</p> <p>⑰地域ボランティア（シニア、主婦等）が指導する地域サークル活動と自宅での自己学習の併用による発展的プログラミング教育</p> <p>⑱全ての地域で実施可能な、現実的且つ効果的なプログラミング教育の実証 ～Scratchと「26 の評価項目」を用いた、楽しみながら実力のつく講座の提案～</p> <p>⑲大学の無い地域における「工業高校生メンターの育成」を通じた持続可能なプログラミング教育のエコシステムづくり</p>	<p>⑪夢見る株式会社</p> <p>⑫株式会社学研エデュケーショナル</p> <p>⑬株式会社テックプログレス</p> <p>⑭松江市</p> <p>⑮日本マイクロソフト株式会社</p> <p>⑯株式会社ロジコモン</p> <p>⑰NPO 法人日本ソーシャルスクール協会</p> <p>⑱株式会社 CA Tech Kids</p> <p>⑲株式会社リチャージ</p>
16:30～16:40	講評	プログラミング教育事業推進会議 主査（一般社団法人 ICT CONNECT 21 会長）赤堀 侃司
16:40～17:00	文部科学省	
10:00～17:45	成果展示・デモンストレーション等	